

会議結果報告書

令和6年10月30日

会議の名称	令和6年度第2回舞鶴市子ども・若者支援会議 産前・産後サポート部会	
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 附属機関 <input type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和6年9月12日(木) 13時30分～15時30分	
開催場所	舞鶴市中総合会館5階 セミナールーム	
出席者	永木ひとみ、上野和美、谷口英子、山根亜由美、尾崎美希、小幡彰一、埜村彩、片山庄子、新宮美紀、坂野智美 事務局(瀬野勝久、尾橋淳子、真下知子、内藤恵美、緒方睦子、船原理恵子)	
議題	産前・産後サポート部会 (1) 第1回のまとめ ①産前産後の支援体制と課題について ②舞鶴市の取り組みの現状 (2) 産前産後支援のめさす方向性について (こども家庭しあわせ課としての提案) (3) 意見交換	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果 及び 主な意見等	別紙参照	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		
担当課	舞鶴市健康・こども部 こどもまんなか室 こども家庭しあわせ課 TEL (0773)66-1008	

第2回 舞鶴市子ども・若者支援会議 産前・産後サポート部会 議事録(要約版)

日 時：令和6年9月12日（木）13時30分～15時30分

場 所：舞鶴市中総合会館

参加者：委員10名 事務局6名

1. 議事等

- (1) 第1回部会のまとめ
- (2) 産前産後支援のめざす方向性について
- (3) 意見交換

2. 主催者挨拶（部会設置の背景）

前回、いろいろとご意見をいただき、現状や課題の共有ができた。今回はもう少し踏み込んで何ができるか一緒に考えていきたい。広報まいづるや9月議会でも「産前産後サポート部会」の話題は出ており、注目もされている。こども家庭しあわせ課としても、この部会での意見や方向性をベースに事業や予算を考えていきたいと思っているので、お願いします。

3. 第1回部会のまとめ

【産前産後の支援体制の現状と課題】

資料1、資料2のとおり

【舞鶴市の取り組みの現状】

資料3にて説明

（質疑・意見交換）

- ・妊娠7か月頃のアンケートとはどんなものか？

⇒出産子育て支援の伴走型支援として実施しているもので、妊娠7か月頃にアンケートを個別に郵送。不安なことがないか、サポート体制が整っているか、出産に向けた準備は順調かなど確認しており、希望者や必要と判断した妊婦には助産師面談や電話相談を実施している。アンケートの返信がない場合は、担当者が電話をかけてフォローしている。アンケートは電子回答としている。

- ・このアンケートは、質問の仕方や回答方法（面談にするなど）等を工夫することで、妊娠期からの密な関わりにつながるのではないか。

4. 産前産後支援のめざす方向性について

こども家庭しあわせ課からの提案（資料4）を基に意見を出し合う。

- ・「すべての妊産婦が」⇒「すべての妊産婦とその家族が」
- ・「しあわせを感じながら」を追加
- ・最後に「舞鶴」をつけては。

目指す姿（ビジョン）は

『全ての妊産婦とその家族が必要なサポートを選択し、しあわせを感じながら

安心して産み育てることができる舞鶴』で決定

5. 4で決定したビジョンに向けて、各機関が担う役割について **資料5**
目指す姿に向け、この先5年間を見据えて、各機関が「できること」を出し合う。
出された意見は **資料5-1** のとおり。

6. 意見交換

【知識の周知・啓発】

- ・妊娠中に、妊娠期～産後の心身の変化や生活の変化を周知して備える機会が必要。(症状・心身の変化はだれでも起こりうる・改善方法がある・家族のサポートが必要) また、職場の理解も必要。
- ・赤ちゃんのお世話、夜の授乳、家事など産後どんなことが起こりうるか、想像しにくいので、具体的に伝える必要がある。
- ・父が育休をとるタイミングなども具体的に伝える(入院中や里帰り中にとっても意味がない)
- ・知識がつくだけでなく、トライしてうまくいかなくてもフォローができ、支援者が必要な支援にバトンを渡していけるしくみが必要
- ・産後の生活が見据えられる冊子(睡眠時間・自分の時間・買い物・洗濯・・・)があると何とかなる⇒備えられる
- ・妊娠期から産後ケアを知っている

【支援体制】

・高浜町のすまいるマルシェは、町内にあるすべての産後支援がマルシェ形式で集結。母が必要な支援を選択可能で、産後1年まで無料で何回でも参加可能と聞いた。参考にできることもあるのでは。

【まとめ】

- ◆委員全員で、産前産後サポート部会としての目指す方向性を確認することができた。
- ◆めざす方向性(ビジョン)に向かって、それぞれが「できること」を出し合う中で、『医療機関と地域のサービスがもっと連携してつながろう』との意見が出され、顔の見える関係から、新たなつながりができた。
- ◆次回3回目は、第2回子ども・若者支援会議に上程できるよう、部会としての意見・方向性をまとめていく。

7. 閉会

次回

日時：令和6年9月27日(金) 14時30分～16時30分

場所：中総合会館 3階 集団健診室